

2024年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表保原中央事業所
2025年2月実施

6人

			はい		どちらとも		いいえ		未記入		改善目標 工夫している点など
			人	%	人	%	人	%	人	%	
環境 体制 整備	1	利用定員が指導 訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	100	0	0	0	0	0	0	室内は部屋の配置が工夫されていて、外には庭もあり、十分に確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	100	0	0	0	0	0	0	人数の配置は適切です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	100	0	0	0	0	0	0	玄関には段差があるが、室内はフラットです
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	定期的に事業者内支援会議を全員参加で行い、職員がいろいろな意見を出し合い立案等しています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	0	毎年1月下旬にアンケートを配布し、2月に集計結果をもとの話し合い、業務改善につなげている。またホームページに集計結果を公表している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	毎年毎年2月下旬に自己評価表の結果を、ホームページやいぶきつうしんで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	0	第三者評価はないが、担当者が適切に評価している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	事業所内での研修や、外部より講師を招いて研修会を行ない参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	アセスメントツールを用い情報を集め保護者のニーズを聞き話し合いをし分析を行い計画作成をしている。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	JMAP LD児等チェック、JSIR等のツールを用いている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	職員で話し合い、意見を集約し立案している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	その日の子ども達の様子に合わせて様々な集団遊び安堵を取り入れ、日々固定化しない様になっている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	平日、休日長期休暇それぞれに対応して計画を立てている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	個に応じた個別課題、サーキットトレーニングやグループ活動など、小集団での課題個別課題を組み合わせ計画を立てている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	職員全員で前日の振り返り、その日の役割分担や療育内容、支援の仕方についての確認を行なっている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	送迎終了後に、1日の振り返りを行ない、気が付いた事や反省点を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	0	毎日、日誌やケース記録を記入し、気付きや反省点なども記入していき、検証改善に努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	半年に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしている。必要に応じて半年以内で実施する場合もある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	放課後等デイサービスガイドラインといふき保原中央の療育と照らし合わせて支援を行っている。

関係機関や保護者との連携

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	100		0	0	0	0	0	いぶき保原中央を会場に、障がい児相談支援専門員を招き、自発管や児童指導員が参画している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	100		0	0	0	0	0	学校からのメールや電話、お迎えに行ったときに情報をいただいている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		0	6	100	0	0	0	0	医療的ケアの必要な児童は在籍していないが、入所した際には連絡体制を整えて連携していく。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	100	0	0	0	0	0	0	児童発達支援事業所等を見学に行き、担当者会議を行い、理解に努めている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	今年度はいませんが、いた際は就労支援事業所、生活介護事業所への情報を提供するようにする。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		0	6	100	0	0	0	0	連携はあるが助言や研修を受ける機会はなかった。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	100	0	0	0	0	0	0	放課後児童クラブとの交流はないが、公園、屋内遊び場へ出かけた際には、活動の機会がある。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	いぶきグループの代表が出席し、報告を受け、それに応じ話し合いの時をもち、情報の共有をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	送迎の際に、一日の様子を伝えたり、必要に応じて情報などを伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	必要に応じてアドバイスや支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	契約、モニタリングや更新の際に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	相談をいつでも受けやすい体制を取り、助言やアドバイスをしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	外部講師を2回招いて講演会を企画し、その後保護者同士の交流の場を設けた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	迅速かつ適切に対応できる様に、担当者が対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	定期的にいぶき通信を発行し、活動内容や子供たちの様子をお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	職員が入社時、個人情報に対する契約書を交わし、職員打ち合わせの際に注意喚起をしている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100	0	0	0	0	0	0	子どもや保護者に応じた対応を行い、情報伝達がスムーズに進む様にしている。行なう様にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	0	0	0	0	0	0	今年度は新型コロナウイルスなどの感染症対策の為、実施を控えた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	契約、モニタリング、契約更新の際に内容を伝えている。閲覧できる様にしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	100	0	0	0	0	0	0	定期的に避難訓練(地震・火災・水害等を想定して)実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100	0	0	0	0	0	0	年1回外部講師を招き、虐待防止の研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	身体拘束等適正化検討委員会は設置しているが、身体等拘束の必要な児童は在籍していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	100	0	0	0	0	0	0	アレルギーの有無を面談の際に保護者からの聞き取りを行ない、記録の残し、共通理解を図り対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100	0	0	0	0	0	0	0